

文教厚生委員会 「認定こども園について」

7月31日（月）平成31年4月開園予定の認定こども園（現・北中根保育園）の事業者である、社会福祉法人知多学園の運営する常滑市の波の音こども園の視察を行いました。

園庭が中央に広くあり、園舎は木造の平屋建てで、園庭を囲むように園舎が建っており、全ての部屋から園庭の様子が見えるようになっていました。3歳児以上はランチルームで昼食をとるため、隣の調理室から部屋まで運ぶ必要がなく、とても便利で衛生的な環境となっていました。テラス

にはシャワーがあり、プールが設置され、水遊びが行われていました。敷地内の支援センターでも親子で楽しそうに水遊びをする姿が見られました。

武豊町に開園する認定こども園は定員・施設ともに同等規模であり、視察によりイメージが具体的にになりました。

幼保一貫教育を行っている武豊町の保育園と認定こども園の、明確な違いを保護者のみなさんに理解していただくことが課題と感じました。



■波の音こども園の様子

建設経済委員会

「中心市街地」「景観形成区域」「コンパクトシティ」を調査

7月13日 石川県金沢市
視察テーマ
①中心市街地の活性化について

②景観形成区域（伝統環境保存地区）について
中心市街地活性化事業として、金沢駅前で街づくり会社の運営する「プレーゴ」を訪問。表通りから裏路地への小路を、イタリア風店舗で統一感を醸し出し、本町駅東区画の雰囲気づくりを参考となるモデルでした。また、伝統環境保存地区視察では、港に面した「大野町地区」の古民家や蔵を改装した休憩所など、景観保存の規制や補助制度を研修し、本町の味噌蔵景観の保存、活用を参考とする視察でした。

7月14日 富山県富山市
視察テーマ
①コンパクトシティへの取り組み

公共と民間事業者との交通ネットワークを細部に亘り構築し、通勤時間帯と昼間利用者の減る時間帯の乗客層を分類し、それぞれに利便性を持たせるなど、多くの施策を研修しました。本町で、鉄道とコミュニティバス、デマンドタクシーの利用状況などを継続的に調査・再検証し、利便性を向上させ続けることの重要性を学びました。



■石川県金沢市「大野町地区」視察風景